

第1章 聖徳グループ保育理念

		項目	ページ	評価	評価・課題
第1章	聖徳 グループ 保育理念	園の保育理念や基本方針 真宗保育の理念 聖徳グループ職員という意識 職務分担	1~10	A	全体的には法人の方針や理念をしっかりと理解して仕事に取り組んでいるが、若手が少し弱いと感じるので、園内での話し合いを増やしていきたい。

第2章 総則

		項目	ページ	評価	評価・課題	
第2章 総則	① 保育所保育 に関する 基本原則	保育所保育に関する基本原則 ・保育所の役割 ・保育の目標 ・保育の方法 ・保育環境 ・保育所の社会的責任	11~22	A	常に理念を意識しながら取り組んでいた。保育園の役割や社会責任を職員間で話し合い共有していきたい。	
	② 養護に 関する 基本的事項	養護に関する基本的事項 ・養護の理念 ・生命の保持 ・情緒の安定	23~35	A	子どもの情緒に寄り添い、信頼関係を築き、子ども自身が自分の世界を広げる手助けをしっかりと行っている。	
	保育の計画 及び評価	・全体的な計画の作成 ・指導計画の展開 ・保育内容等の評価 ・評価を踏まえた計画の改善	36~41	A	全体的な保育計画のもと、子ども達の姿をクラスごとに話し合い、きちんと計画を立てて保育を行っていた。	
	保育の計画 及び評価	保育の内容 ① 保育の環境		42~50	A	子どもにとって心地よい環境づくりを心掛けている。
		保育の内容 ② 乳児保育		51~72	A	乳児一人ひとりに合わせて、一日を過ごすことが出来るよう配慮していた。
保育の内容 ③ 長時間保育			73~78	A	子ども達が安心して過ごし、寂しさを感じないような楽しい雰囲気の中保育を行った。	
保育の内容 ④ 障害がある子どもの保育			79~89	C	現在該当外	
保育の内容 ⑤ 子どもの人権		90~96	A	人権に配慮して保育することが出来た。		

第3章 保育の内容

		項目	ページ	評価	評価・課題
第3章 保育の内容	保育の内容 ねらい	乳幼児期に関わるねらいと内容	97～112	A	登園した際、日中の健康観察をしっかり行い、健康面・情緒面への配慮をしっかり行っていた。
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ① 健康	113～125	A	健康的な生活の習慣がつかう関わることができた。
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ② 人間関係	126～142	A	それぞれの子どもの思いや甘えたい気持ちを受け止めようと心がけていた。温かい雰囲気の中で保育を行ってきた。夏の極端に暑い日が続いたときは、体調管理を見ながら保育を行っていた。一人一人の欲求に合わせて、関わっていくように心がけていった。
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ③ 環境	143～158	A	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ④ 言葉	159～177	A	
		教育 3歳未満児保育（1.2歳児保育） ⑤ 表現	178～190	A	
	教育 3歳以上児保育 ① 健康	191～203	C		
	教育 3歳以上児保育 ② 人間関係	204～220	C	3歳以上児未満児保育園の為該当なし	
	教育 3歳以上児保育 ③ 環境	221～236	C		
	教育 3歳以上児保育 ④ 言葉	237～255	C		
	教育 3歳以上児保育 ⑤ 表現	256～268	C		
	保育の内容 の留意事項	① 保育課程	269～273		A
		② 指導計画 策定	274～291	A	クラス担任を担っている職員はよく理解して指導計画を作成している。サブ的立場の職員の評価が低かった。
		小学校との連携	292～300	C	3歳以上児未満児保育園の為該当なし
		保育内容の自己評価	301～309	A	だいたいの職員が自己評価に対する認識を持って保育実践をしている。

第4章 健康及び安全

		項目	番号	評価	評価・課題
第4章 健康及 び安全	子どもの健康支援	子どもの健康支援	310～321	A	子どもの健康状態や感染症対応に対してしっかり実践することができている。
	食育の推進	食育の推進	322～335	A	今年はたくさんの野菜を植えて食べることができた。喜んで食べていた。
	環境及び衛生管理	環境及び衛生管理	336～341	A	感染症・暑さ対策等家庭とも共通理解しながら保育を行っていった。
	災害への備え	・安全管理 ・災害への備え	342～349	A	避難訓練・防犯訓練を計画的に行い、また備蓄の点検・マチコミメールによる保護者への連絡も訓練を行っていった。

第5章 保護者に対する支援

		項目	番号	評価	評価・課題
--	--	----	----	----	-------

第5章 保護者 に対する 支援	入所している保護者に対する支援	保育園に入所している子どもの保護者に対する支援	350～361	A	保護者とも送迎時をはじめ、行事の時や個別面談などを活用して積極的に関わっている。
	地域における子育て支援	地域における子育て支援	362～365	A	コロナ禍の為、一時保育等の受け入れもなかなかできなかったが今年度は再開できて良かった。
	地域や関係機関との連携	地域や関係機関との連携	366～371	A	関係機関としっかり連携して園児に関する報連相を行っている。また、実習生やボランティアの受け入れも積極的に行っている。

第6章 職員の資質

		項目	番号	評価	評価・課題
第6章 職員の 資質向 上	職員の 資質向上	・職員の資質向上 ・職員の研修 ・職員の研修の 実施体制	372～385	A	オンラインの研修が増え、キャリアアップ研修も全員が受講できた。園内研修も計画的に実施され保育内容等も共通化されていった。

【園全体の評価】

・今年度は、職員が大きく異動があり、職員一人一人がコミュニケーションをしっかりと、チームワークの構築に努めていった。また保育の再確認を行っていたが、皆真剣に研修に参加し、理解していないところや自分の保育の振り返りを行い、OJT担当や主任に相談する体制が出来ていた。子ども一人一人を受容しようとする意識も持ち、個性や特性を理解して子どもに関わることができていたことが良かった。後半はチームワークも良くなってきて、協力して、自分以外の職員の様子を見て手伝おうとすることが普通になり、自分の思いを話すことの出来る環境もできたように思う。職員一人一人の自覚を持った保育のおかげで大きなケガやトラブルもなく1年園運営ができたと思う。

【来年度の課題】

・今年1年作り上げてきた園職員のチームワークや信頼関係を構築し、保育指針の内容を理解しながら、子ども、保護者一人一人に安心して園生活を送ってもらえるよう、さらにスキルをあげていく。
・保育所保育指針を、再度読み込む中で、目指す子ども像や保育の意味を明確にし、共通化を図ることで、自分のクラスだけでなく園全体で保育に当たる意識を持つ。
・子ども達一人一人に目を向け、子どもと保護者を支えていく体制を整える。
・行事や日々の保育の振り返りを大切にし、改善を行っていく。
・園研・外部研修などに積極的に参加し、環境の在り方や保育の質の向上について学びを深める。

社会福祉法人聖徳福祉会

れんげ保育園 高橋 もよ子